

木くぼり

樹木の不思議 53



No.
88

発行
'10-8月号

株式会社 ナガイ内
住まい教室 金谷教室

水責めぐらいでは参らない

一般に樹木の多くは、適度に水はけのよい立地で生育しています。それは、生物細胞の維持には酸素が不可欠で、私たちがふだん目にしていない地下部の根系も例外ではないからです。つまり、普通の樹木は、ジメジメグチャグチャな土壤水分が過剰な立地では、根系が酸素不足に陥り生育ができないのです。しかし、なかには、湿地にうまく適応して生育できる変わりものもいて、彼らがつくる林は湿地林と呼ばれ、世界中にさまざまなタイプのものが分布しています。湿地林を形成する樹木は、その耐水性に程度の差はあれ、進化の過程で酸欠に陥る立地条件で生育できるなんらかの生理的・形態的なメカニズムを獲得した樹木たちなのです。



さて、我が国の暖温帯域から冷温帯域で湿地林を構成する樹木の代表といえば、ハンノキを挙げることができるでしょう。本州のハンノキの立地は、そのほとんどが稲作の普及とともに水田に変えられてしまい今では大規模な林は残存しませんが、北海道にはまだたくさんのハンノキ林が残っています。なかでも有名で典型的なのは釧路湿原国立公園のハンノキ林でしょう。

ハンノキは湿地林を構成する他の樹木（例えばヤチダモ、ハルニシなど）と比較しても最も耐水性が高いのですが、酸素供給のほとんどない停滞水に年がら年中つかった状態ではさすがに生育できません。しかし生育地の限界はかなり複雑でハンノキの耐水性のメカニズムの全容はまだ解明されていません。

幹の皮目から酸素を地下部に送り込む機構や、酸欠状態に陥ると、不定根の発生、皮目の肥大、萌芽の発生といった対応をとったり、細胞の酸欠障害を弱める各種の酸素を量産するDNAのスイッチが入ることなどが知られています。

参考資料：「森の木の100不思議」、インターネット

住まいの体感ルームOPEN!

実際に見て、触れて、五感で居心地の良い空間をイメージできます。

当社倉庫の2階に、以前より準備しておりました展示室「体感ルーム」が、オープンしました。小さなカットサンプルや、カタログを見ただけでは、実際のイメージは、わかり難いものです。「体感ルーム」では、床板、天井板、羽目板等の無垢木材（二十数種）。珪藻土、塗壁、和紙、など内装材や建具、玄関タイルを多数展示しております。実際に目で見て、触れて、居心地をイメージできます。

※事前予約制です。



【夏休み 親子木工教室】のご案内

昨年の夏休みに好評を頂いた「親子木工教室」を今年も開催致します。木の香りや、感触を感じながら親子で木工作業を楽しんでください。どなたでも参加できます。ご家族、お友達、お知り合い皆さんお誘いあわせご参加ください。

日 時 平成22年8月21日（土） AM9:00~12:00

場 所 (株)ナガイ倉庫

参加対象 小学生以下は保護者同伴（保護者1名で児童2名でも可）
先着30名とさせていただきます。

参加費用 子供1名 500円（材料費として）

持ち物 道具はこちらでも用意しますが、できるだけ、ご家庭にあるものを記名の上ご持参ください。

（のこぎり・かなづち・釘抜き又はペンチ・紙やすり・ものさし・三角定規・鉛筆など） タオル・水筒

作品内容 親子で楽しく作れるものを只今検討中です。

体感ルーム見学、木工教室のお問い合わせ、お申込みは下記までお願いします。

(株)ナガイ 島田市牛尾510-2 TEL (0547) 45-3501

